

玉手山学園広報

No.61 秋号

2009年9月25日発行
総合学園広報誌

建学の精神「感恩」

人間のおよび得ない存在への畏敬の念と、生かされてある不思議を原点に人はみな有形無形の数々の恩恵を享受し今日の自分がある。この厳粛にして偉大なほからいに目覚め、沸き起こる深い感動と感謝の念から発する情熱をもって行動するとき、われわれは人々に幸せをもたらすことができる。

まもなく平成24年(2012年) 70 学園創立 周年

～笑顔、あいさつ、心優しいマナーがあふれ、
夢が語り合える学園に～



理事長 江端 源治

短かった今夏、 地球にやさしく、 新型インフルエンザに 負けない

異例の長梅雨、なぜか遠慮がちであった真夏の陽射、そして新型インフルエンザによる日程調整などの影響もあり、今夏はたいへん短く感じられました。今年もやはり、各地に大きな被害をもたらした手のつけられぬゲリラ豪雨、日本では珍しい大型竜巻、不気味な地震が相次ぐなど大自然の威力の前に人は翻弄され、地球の「異変」をますます身近に感じざるを得ません。昔は(つい最近まで)、こんなことはなかった。地球はSOSを発信しているのです。何が、誰がこの「大地球」に負担をかけているのか。それは、母なる大地球に大きな恩恵を受けているわれわれ人間であり、

産業革命以降、科学技術の著しい進歩のなかで裕福な文明生活を謳歌してきた現代人はその責任が大きく、これからの地球をどうするかに大きな影響力を持っています。私たちは地球保護に真剣に取り組まねばなりません、われわれ一人一人でもできることがたくさんあります。「地球にやさしく」を意識して、各人ができるエコ「を実践していきましょう。」さて二学期が始まりました。各々の今年度目標・目的を再確認し実直に頑張つてまいりましょう。今年には特に新型インフルエンザには、十分に注意しながら通常の学園教育活動、学園生活、業務を推進していかねばなりません。最も大切なのはひとりひとりの心構えと予防対策です、各自の適切な油断なき対処・対応をよろしくお願いいたします。「新型インフルエンザになんか負けない！」

学園内史跡「立教館」 は私学のルーツ 私学人たる喜び、誇り

明治維新に向かう幕末、当地河内国分の医師「柘植葛城」(1804～1874)が、地元の高き青年たちを広く集め「人格・知識を高め、社会に貢献する人材育成、日本の立国」を願い、天保12年(1841年)、私塾「立教館」を開設しました。朝廷でも幕府でも藩でもない、一個人の「自分が教育をする！」という強い意志・情熱によって作られた学校であり、この気概・精神が私立学校の原点であります。その史跡「立教館」が縁あって本学園キャンパス内にあります。本学園はその誇り高い「私学(人)魂」をしっかりと受け継ぎ、来る70周年をひとつの節目として、今後一層、教育活動に邁進し社会に役立つ人材を育

成してまいりたいと決意しています。まだ一度もこの「立教館」をご覧になっていない方はぜひ一度ご見学ください。なお学園創立70周年を記念して「立教館」に関する事項を改めて、調べまとめた冊子「史蹟立教館」が本年度中に完成いたします。ご期待ください。

学園創立70周年、 先人の努力に感謝

当学園は昭和17年(1942年)、ここ柏原は国分の地の玉手山高等女学校創設に始まります。青年実業家である山田藤一氏が、たいへんな労苦のもとに為し得られた尊い財産をもとに「感恩の精神を体し、日本の将来を担う若者を育成したい」という熱意で学校を創設されました。ときまさに太平洋戦争の真っ最中でありました。爾来、短期大学、幼稚園、専門学校そし

て平成9年には念願の大学を設
置し4千数百名の在籍者を擁す
る学園にまで発展し、幾多の卒
業生を世に送り出してまいりま
した。この間、学園は順風満帆
のときばかりではなく、学校存
続さえ危ぶまれるほどの危機も
ありました。多くの試練を克服
してこられた先人のご努力に心
からの敬意と感謝の意を表しま
す。

70周年記念事業

(学園中長期計画)、

学園二層の発展向上を期す

当学園はまもなく(平成24年
(2012年)に)創立70周年
を迎えます。教育活動の基盤に
しっかりと建学の精神「感恩」
を据え、常に「教育力の向上」
に努め、良質の教育サービスを
提供し「学生、生徒、園児の持
てる力をひきだし、伸ばし育て
る」ことに全学園あげて情熱を
燃やし教育活動に邁進してまい
ります。創立70周年を機に、学
園一層の発展向上を期す記念事
業を展開しております。平成19
年の学園総合体育館「D・o・夢」
の竣工もその一環です。

専門学校が生まれかわる

大学新学部構想・短大

新学科構想へ発展的移行

当学園の専門学校が生まれか
わります。学園70周年記念事業
(学園中長期計画)の主要事業
として大学新学部、短大新学科
設置構想があります。この構想
は当学園専門学校の介護福祉学
科・診療情報管理学科・同専攻
科を短期大学へ、理学療法学科・
作業療法学科を大学へと、発展
的に移行させようというもので
す。建学の精神「感恩」を体し、
人間の絆に目覚め、感動と感謝
の念から発する情熱をもって人
に幸せをもたらす、社会に貢献
し得る人材を育成するという当
学園の使命を一層発展的に充実
させてまいりたいと考えていま
す。構想の概要は、大学は医療
技術学部(仮称)、理学療法学
科・作業療法学科であり、短期
大学は医療秘書福祉学科(仮称)
であります。どちらも平成23年
4月開設予定(平成22年5月末
設置認可申請予定)で鋭意、準
備を進めています。

新学部・新学科は、本学園専
門学校の確かな教育力、多くの
OBたちの現場での活躍・存在、
卓越した国家試験合格率など素

晴らしい実績、専門学校教育の
「良さ」を引き継ぎ、大学・短
期大学教育へとさらなる充実を
目指してまいります。なお平成
22年4月の専門学校4学科の入
学生が、専門学校として最後の
入学生になります。当然ながら
卒業までの責任ある指導はも
ちろん、母校が大学・短大に発
展的移行をするわけですから、
どうぞご安心ください。みなさ
んの母校業務は関西福祉科学大
学と関西女子短期大学が行って
まいります。

新校舎建築構想にも

期待

既に述べた新学部、新学科そ
して大学、短大の一層の教育力
向上を期して新しい校舎の建設
も予定しています。現在の学園
2号館規模の校舎を構想してい
ますが、建築場所は大学本館の
西側傾斜地が候補地になってい
ます。新学部、新学科の設置構
想と連動し平成23年度中の竣工
を目指しています。

笑顔、あいさつ、

心優しいマナーがあふれ、

夢が語り合える学園に

いろいろと70周年記念事業学
園中長期計画の計画を述べま
したが、学園教育活動のベース
となる大切なこととして、この
玉手山学園が「笑顔、あいさつ、
心優しいマナーがあふれ、夢が
語り合える学園」になってほし
いと願っています。心が満たさ

れ豊かであれば自然に笑顔にな
ります。また、意識して笑顔をつ
くると心も豊かになってきま
す。教科書や授業の枠さえ超え
て…「やればできる!」(We
can do, if we will.)の気概をも
って、学生・生徒・園児そして
教職員たちが夢・目的を語り合
い頑張っている、そんな学園を
目指しています。学園教職員そ
して学生・生徒・園児のみなさ
んどともに作り上げてまいりま
しょう。



大学新学部構想・短大新学科構想

大学副学長 岩瀬 悉有

平成24年には本学園が創立70
周年を迎えることを機に、理事
会は学園のさらなる発展を願っ
て、学園内の関西医療技術専門
学校を大学の新学部、あるいは

短大の新学科へと発展的に改組
することを決定し、「学園中長
期計画」(学園70周年記念事業
(平成20年11月21日理事会承認)
の中の大きな一つの柱として位

置づけた。

現在、関西福祉科学大学では三つ目の学部として、「医療技術学部」(仮称)を「構想中」である。理学療法士、作業療法士の受験資格取得をめざす理学療法学科、作業療法学科2学科で構成される新学部構想である。また関西女子短期大学では、介護福祉士、診療情報管理士の受験資格取得をめざす「医療秘書福祉学科」(仮称)及び専攻科

を設置する計画である。どちらも平成23年4月に開設予定であり、江端源治学長から8月1日の大学・短大のオープンキャンパスで公表された。

福祉・医療を中心とした福祉科学大学と医療技術を専門に修める専門学校との両方を有する本学園は有利な状況にあると考えられ、新学部、新学科の具体的内容について、現在、学内で検討が進められている。

特別支援教育専攻科の設置

健康福祉学部長 三戸 秀樹

養護(特別支援)学校における教員は、これから特別支援学校教諭一種免許が必要です。この教員免許は、普通免許をあらかじめ取得し、さらに一年間の当該教育課程を終えると取得出来ます。平成十九年に文部科学省が整備しました。本大学で取得出来る普通教員免許は、社会福祉学科の「社会」「公民」と、健康科学科の「保健」です。これらの免許取得者は、さらに福祉系大学らしい免許取得が出来ます。本課程は学部終了のあと

の一年専攻科です。しかし大層忙しい勉強となりますが、学部時代に科目等履修で必要単位を取得すると、学部卒業と同時に特別支援学校教諭一種免許が取得出来ます。

なお、短期大学における普通免許二種取得者も、さらに本課程の必要単位を取得すると、特別支援学校教諭二種免許が申請出来ます。本専攻科ができると、恐らく全国の私立四年制大学で最初の専攻科となるでしょう。

三大学院連合メンタルヘルスセンター構想

健康福祉学部長 三戸 秀樹

働く人のメンタルヘルス改善を期し、2004年6月、新大阪に大学付属のEAP研究所を立ち上げ、今では、毎年の研究所フォーラムの開催や復職支援プログラム稼働や事例検討会開催等で着実に成果をあげています。この働く人のメンタルヘルスにおける実践的研究の旗艦大学である本学と、帝塚山大学と

帝塚山学院大学が集まり、三大学院連合メンタルヘルスセンターが、NPOとして大阪府に立ち上がります。

人がいきいきと働くことが出来る社会の実現へ向けて、メンタルヘルス分野から産業組織体の活性化を図るための事業を行います。働く者とその家族の福祉の増進に寄与するとともに、

心理諸科学に関する学術振興と社会教育へも力を入れます。とくに、働く人のメンタルヘルスへ実効ある支援が行える臨床心理士養成とその支援、加えてこの領域研究を目指します。本学からはEAP研究所スタッフや産業系に明るい研究者が参画します。

福祉系大学経営者協議会の設立と活動について

社会福祉学部長 杉本 敏夫

本学が設立された1990年代後半頃には新しく介護保険制度が創設されるということもあり、社会福祉には順風が吹いていました。2000年中ごろから社会保障制度の見直しや一部の介護事業者の不祥事等があり、社会福祉には急激に逆風が吹き出しました。そのため、社会福祉の分野には人材不足が起こり、また福祉系の学校には受験者数の急激な減少が起こり

ました。しかし、これからの社会をより良い社会にしていくためには専門的な力を身につけた福祉人材が必要なことは明らかです。

このたび設立された福祉系大学経営者協議会は、特に社会福祉学を中心にして運営されている11の大学が中心になって連携・協力体制を築き、各大学が健全な運営を推進することで、求められる有能な福祉の人材を育成

し、将来の福祉社会構築に貢献しようとするものです。本学も江端源治理事長が発起人の一人となり、正式に発足した協議会の理事として参加しています。これからは、マスコミへの積極的な情報提供、高校生を対象としたイベント等の実施、関係団体等との情報交換、研究や提言等を行っていくことになっていきます。

教育開発支援センターの 発足について

教育開発支援センター長
八田武志

平成21年度運営目標にある事業計画に基づいて、教育開発支援センターが創設されました。当センターのミッションは、「関西福祉科学大学・大学院及び短期大学における教育・研究活動との連携の下に、学内外の研究者の協力を得て高等教育に関する調査・実践・研究を行い、関西福祉科学大学・短期大学の教育内容、(授業力)、学生の意欲向上、学生の学習力向上の具体的取り組みの開発と実践をめざし、高等教育の質的向上に資すること」であり、上記の目的

を果たすために、大学評議会の承認のもと関西福祉科学大学・短期大学の総力を結集し協力を構築するために、FD委員会、教育活性化委員会、授業評価委員会、成績評価問題委員会を統括する諸活動を行うことです。副センター長の山内彰、相谷登、細見環の教員と安藤友規子、越智真弓、松井朋子の職員という構成で上記のミッションを果たすべく歩み始めましたので、教職員の皆様のご協力を宜しくお願いいたします

日本行動分析学会から 学会賞を戴いて

社会福祉学研究科長
武田 建

この学会は厳密と客観重視で、一寸ずさんな発表をしたら、容赦なく叩かれます。臨床で生きた私は、遠くから怖々眺めてきました。その学会が私を「応用部門」で表彰すると言われて、腰が抜けるほど驚きました。それも関西学院大学と高校のアメ

フトト部を13回日本一に導き、コーチングに関する本を何冊も書いて行動理論の普及に役立った由です。「武田建のコーチングの心理学」創元社2008年は、本学の研究費で完成した本です。

本学の取組が文部科学省平成21年度「大学 教育・学生支援推進事業」に採択されました

GP委員会委員 奥田 洋

文部科学省が、全国の大学等に公募していた「平成21年度大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム」に、本学の取組「個々の学生に対応した学士力発揮のための就職支援体制の強化」が採択されました。

この取組は、未曾有の経済危機により新卒者の就職機会が減

少しているなか、自分の望む事業所に就職できる力(就職力)を高めるため、一人ひとりにあったサポートと、少人数のトレーニングを計画したものです。具体的には、①学生が自分の能力・知識・適性を認識するアセスメント、②適性等と希望職場とのマッチング、③自己表現力等の向上を、キャリアカウンセ

ラーやグループファシリテーターの個別サポートにより行います。また能力・知識を高めるレクチャーも同時に実施します。この取組により、就職を希望する学生が全員就職できることを目標にして、大学教育力の社会への還元を図ります。

楽しい家庭は笑いから

高等学校PTA校内書記 大森 忠夫



PTA 講演会

平成21年度PTA講演会は、6月30日(土)にユーモアコンサルタントの矢野宗弘さんをお迎えして、学園本館の視聴覚教室で行いました。

矢野さんは関西大学のご出身でいらっしゃいますが、(親のコネでなんとか入れるやろ!)と思っていた金融機関が不採用で、(練習に受けとこか?)と受検した別の金融機関に就職されたという経歴の持ち主です。

数字が苦手な、銀行の1日の終わりの数字が合わず、先輩同僚に迷惑をかけていた落ちこぼれ行員から、ある時転勤してきた支店長が、矢野さんの落語研究会に所属していた経歴を見て、老人ホームなどいろんな施設をボランティアで連れて回り、やがて地域に溶け込んで自信をつけたあとは、先輩を飛び越えて支店長になっちゃった。という話を面白おかしく語られ、参加

した約60名の保護者に「ころに余裕がないと笑えない」「家庭でのコミュニケーションや思いやりがないと笑いが出てこない」と、笑いの効用・笑いの秘

訣を教えてくださいました。最後は、衣装を着替えて古典落語『野ざらし』を熟演、場内は爆笑の渦に包まれました。(笑)

第2回理事長杯 中学生女子バレーボール大会開催

法人本部施設部 中村 勇



バレーボール大会開会式

7月11日(土)、12日(日)の2日間、学園総合体育館及び

第2体育館で「第2回理事長杯中学生女子バレーボール大会」を開催しました。昨年と同様、16校延べ876名の生徒等の参加があり、優勝したのは学園近郊の堅下南中学校でした。

この大会を観戦していて私自身感動する事があります。それは、コーチ・監督が生徒に対しバレーボールの技術的な指導をすることは勿論ですが、練習に臨む姿勢や礼儀、感謝や相手を思いやる気持ちの大切さを教えられていることです。それが生徒達に接する私たちにも気持ち良く伝わり「また来年も来てね」と自然に言葉として出てきました。準備も大変でしたが生徒の姿勢で心が和みました。学園スタッフの皆様も同様の感想を抱かれたことと思います。ご協力を戴いた皆様ありがとうございます。

原川でホタルの舞い

法人本部 田堀 富造



原川のホタル

去る6月2日の20時頃、D。夢のジムの帰り路の原川端で、ホタルが数10匹飛んでいるのを見かけました。日に日に数も増えて行き、多いときは30数匹の乱舞も見られました。ホタルのスローで非直線的な動きは、性急で喧騒な日々を過ごしている私たちにひと時の和やかな時間を提供してくれま

した。うわさを聞きつけたご近所の家族連れも含めて賑わったひと時でした。ほんの2週間ほどの出来事でしたが、その情報を学園のネットの皆様で紹介した際には、たくさんの反響をいただきました。和んだ(癒された)コメント以外に、人がたくさん見に来ると捕獲があったりと環境破壊面で危惧される声もあり、自然のままが一番だなと感じた一面もありました。

「たっぷりVeggies食べる料理コンテスト」表彰式開催

食堂改善委員会



野菜料理コンテスト入賞の皆さん

豚汁そば (津村彩香さん考案)

具たっぷりミネストローネ (吉田竜哉さん考案)

広報春号(No60)でお知らせしました標記コンテストは、①獨創性 ②簡便性 ③総合評価の3グループで審査を行い、6月25日に学園2号館の1階で授業の合間の昼休み時間を利用して表彰式を行いました。当日は、大学の吹奏楽部にもご協力を頂き、生バンドで表彰式を盛り上げてもうりました。総合評価1位の福祉栄養学科3回生の吉田竜哉さんの「具たっぷり

のミネストローネ」は、大学食堂(魚国)にて販売されました。その他各部門の上位入賞者のメニューのいくつかは、本学各食堂で販売されました。食された方もおられるかと思えます。式当日は、サブライズとして福祉栄養学科が取り纏めたコンテスト優秀作品の「おすすめレシピ集」も配布しました。(関心のある方は、福祉栄養学科有泉先生までご照会ください)委員会には学生委員が4名おり、津村彩香さんには食堂新メニュー

ーで「豚汁そば」を提案いただきました。 (本館1階食堂なるで販売) 以下は彩香さんからのメッセージです。

「麺類は安価で食べることができて人気ですが、野菜不足だと感じていたので、具がたくさ入った豚汁そばなら野菜がしっかり摂れておなかいっぱい食べられると考えました。販売が決定したときは、自分の提案

が同窓生の仲間に食べてもらえらると思うとすごく嬉しかった。他にも野菜をたくさん使ったコンテンツもメニューが販売されています。まだ食べたことのない人は是非ご利用ください。」

5月よりは、2階食堂でサラダバーも販売開始しました。学生・生徒・園児・教職員の皆さん、野菜をたっぷり食べて、元気になりましょう。

2009K'sコンサート開催のご案内

玉手山学園吹奏楽団事務局

2009 K'sコンサートを来る11月21日(土)に開催いたします。教職員の皆様にはご家族、友人、知人お誘いあわせのうえ、多数ご来場いただきますようお願いいたします。

2009 K'sコンサート
入場無料
城西福祉科学大学・城西女子短期大学
関西医療技術専門学校・関西福祉科学大学高等学校
玉手山学園吹奏楽団
Heartful
平成21年11月21日(土)
城西福祉科学大学
びじゅーホール
開演19:00 閉演20:30
チケット代金
19:00開演 全席自由
21:00開演 全席自由
22:00開演 全席自由
玉手山学園吹奏楽団事務局 072-978-8051

ニューフェイス紹介

(平成21年5月〜9月採用)

○大学事務局



神谷 竜一
(情報センター)

はじめまして。7月1日より玉手山学園に入職し、情報センターへ配属されました神谷竜一と申します。これまでエンジニアとして働いてまいりましたが、「教育・研究の場で働きたい、将来を担う学生さんの教育をバックアップする仕事に携わりたい」との思いがありました。この度、ご縁あって本学に勤務できることになり、大変うれしく思っております。

これから情報センター職員として学園運営に貢献できるように仕事に取り組みと共に、本学のこと、学生さんのことを早く理解するように努めたいと思います。また、学生さんにとって一番身近な社会人でありますのでその模範となるよう行動しなければならぬと考えると、身の引き締まるような思いも感じております。教育に携わる者としてふさわしい人間になれるよう、真面目に誠実に取り組んでまいりたいと思います。まだまだ未熟な身ではありますが、皆様と共に本学園の発展を目指して頑張っていきたいと思いま

す。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願っています。

○幼稚園



辻野 優子
(幼稚園)

この度、9月から幼稚園で勤務させていただきますことになりました辻野優子と申します。

こちらの幼稚園に初めてお伺いした時は、大変緑が多く、なんて自然豊かで広々とした幼稚園なのだろうという印象を一番に受けました。また、広大な遊具にも驚きました。元氣よく遊ぶ子供たちの姿を見ると、うらやましく思います。

他園で2年間勤務していましたが、子供は本当に一人ひとりに個性があり、大人の私でも保育の現場で子供たちから学んだことは、数多くあります。こちらの幼稚園でも個性あるたくさんの子供たちに関わらせていただいていることを、とても楽しく感じております。そして子供達には、様々なことを経験させてあげたいと思います。日々成長する子供たちに関わらせていただく幼稚園教諭の仕事に誇りを感じ、私自身も教諭として成長していけるよう努力したいと思えます。どうぞよろしく願っています。

○大学

野口 法子
健康科学科講師(平成21年4月1日着任)

4月より本大学で、学生の皆さんととても楽しく過ごさせて頂いています。気軽に声をかけてこれら、親しみやすく、授業中は真面目な印象を受けました。自然に恵まれ、4月はみごとな桜を鑑賞でき、今後も四季折々の移り変わりを期待しています。毎日が授業の準備に追われているのですが、趣味も大切にしていきたいと思っています。地球温暖化の影響で、珊瑚の白化現象がいわれており、昨年も八重山諸島付近でシユノーケルリングをして実感しました。珊瑚礁の美しく夢のような世界を垣間見るのが大好きで、スキューバダイビングを趣味にしています。この珊瑚礁をいつまでも守っていく人になってほしいと思いい、3人の子供たちを「真海・真湖・真碧」と名付けました。近年は年令と多忙で潜ることはできていませんが、今年こそこの至福の時を楽しみたいと思っています。

おわび・野口先生につきましては、原稿をお預かりしていたにもかかわらず広報編集委員の手違いで「自己紹介」を春号に掲載することができませんでした。ここに深くおわびいたします。

平成20年度決算報告

平成20年度決算については下記記載のとおり教育環境整備に投資しながら教育目的を達成するために必要な資金を確保し、健全なる財政状態を維持しております。

資金収支計算書 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位 千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金収入	4,441,521	人件費支出	3,130,164
手数料収入	78,780	教育研究経費支出	910,533
寄付金収入	14,327	管理経費支出	444,198
補助金収入	623,656	施設関係支出	245,722
資産運用収入	72,914	設備関係支出	119,992
資産売却収入	319	その他の支出	142,638
事業収入	72,222	資金支出調整勘定	△251,823
雑収入	74,197	次年度繰越支払資金	6,852,340
前受金収入	787,551		
その他の収入	87,058		
資金収入調整勘定	△1,008,673		
前年度繰越支払資金	6,349,892		
収入の部合計	11,593,764	支出の部合計	11,593,764

【資金収支計算書】

納付金収入は、学生・生徒数が前年度と比べ減少したため、前年度比100百万円減少の4,442百万円となった。手数料収入は、志願者数減少により前年度比17百万円減少の79百万円となった。補助金収入は、前年度比7百万円の増加の624百万円となった。寄付金収入は、特別寄付金の増加により前年度比6百万円の増加の14百万円となった。資産運用収入は、寄附行為に基づく定期預金による、より良い金利の金融商品による運用により前年度比11百万円増加の73百万円となった。事業収入は、補助活動事業収入及び受託事業収入の増加により前年度比7百万円増加の72百万円となった。雑収入は、退職金財団からの交付金収入により前年度比24百万円増加の74百万円となった。前受金収入は、学生・生徒・園児の入学者数の減少により前年度比147百万円減少の788百万円となった。収入全体では、前年度比209百万円減少の5,244百万円となった。

人件費は、教育力向上のための専任教職員の補充に加え、教職員の退職により前年度比216百万円増加の3,130百万円となった。経費は、教育研究経費支出が教育力向上及び学生満足度向上及び奨学金制度の充実等で61百万円の支出増、管理経費については節減効果による27百万円の支出減となり教育研究経費、管理経費合わせて34百万円増加の1,355百万円となった。施設、設備関係支出では、校地購入、校舎増築、校舎内外の改修、備品の更新等、教育環境充実の為の投資を積極的に実施したが、前年度比5百万円減少の366百万円となった。よって期中の支払資金は502百万円の増加となり6,852百万円となった。

消費収支計算書 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位 千円)

消費収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金	4,441,521	人件費	3,109,376
手数料	78,780	教育研究経費	1,307,560
寄付金	22,934	管理経費	510,968
補助金	623,656	資産処分差額	9,258
資産運用収入	72,914	徴収不能額	509
資産処分差額	319		
事業収入	72,222		
雑収入	74,197		
帰属収入合計	5,386,543		
基本金組入額	△128,049		
消費収入の部合計	5,258,494	消費支出の部合計	4,937,671
		当年度消費収入超過額	320,823
		前年度繰越消費収入超過額	1,788,870
		翌年度繰越消費収入超過額	2,109,693

【消費収支計算書】

資金収支計算書で説明の如く納付金・手数料の減少、補助金・資産運用収入の増加等の要因により帰属収入の合計は、前年度比では61百万円減少の5,387百万円となった。校舎改修等による基本金への組入が128百万円あり、消費収入合計は、前年度比114百万円増収の5,258百万円となった。人件費については、前年度比144百万円増加の3,109百万円となった。経費については、前年度比19百万円増加の1,819百万円となり、消費支出合計では、前年度比171百万円増加の4,938百万円となった。当年度消費収支差額は321百万円の収入超過となり、翌年度繰越消費収入超過額は2,110百万円となった。帰属収支差額は449百万円の収入超過となり引き続き健全財政を維持した。

貸借対照表

平成21年3月31日

(単位 千円)

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	16,554,843	固定負債	666,509
有形固定資産	12,147,618	退職給与引当金	666,509
その他の固定資産	4,407,225	流動負債	1,305,982
流動資産	6,971,737	前受金	787,551
現金預金	6,852,340	その他	518,431
その他	119,397	負債の部合計	1,972,491
		基本金の部	
		科目	本年度末
		第1号基本金	19,140,396
		第4号基本金	304,000
		基本金の部合計	19,444,396
		消費収支差額の部	
		科目	本年度末
		翌年度繰越消費収入超過額	2,109,693
		消費収支差額の部合計	2,109,693
		科目	本年度末
		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	23,526,580
資産の部合計	23,526,580		

【貸借対照表】

固定資産のうち建物は、高校2号館1F多目的室を大学講義室への改修工事、短大の3講義室のAV設備工事、大学本館1Fのブックストア設置工事があった。構築物は、幼稚園の正門、門扉設置工事等があったが、減価償却により減少。流動資産の増加は、現金預金の増加によるもの。以上の要因等により、資産総額は前期末比409百万円増加の23,527百万円となった。負債の部では、退職給与引当金及び前受金の減少により、負債総額は前期末比39百万円の減少。基本金の部では、大学講義室増設等による1号基本金組入に対し、備品の過年度簿外処理分の減額もあり、全体では128百万円の純増となる。よって消費収支差額の部は、消費収支計算書の部で説明の如く、翌年度繰越消費収入超過額は、前期末比321百万円増加し、2,110百万円。なお純資産は前期末比449百万円増加の21,554百万円となった。

※20年度計算書類の詳細については、玉手山学園ホームページ <http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp> に掲出してあります。

平成21年度予算概要

資金収支予算書 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで (単位 千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,165,005	人件費支出	3,050,663
手数料収入	79,977	教育研究経費支出	899,577
補助金収入	532,184	管理経費支出	396,187
資産運用収入	74,212	施設関係支出	399,657
事業収入	55,118	設備関係支出	113,981
雑収入	29,917	資産運用支出	153,000
前受金収入	836,001	その他の支出	256,306
その他の収入	76,714	資金支出調整勘定	△85,339
資金収入調整勘定	△814,550	次年度繰越支払資金	6,702,886
前年度繰越支払資金	6,852,340		
収入の部合計	11,886,918	支出の部合計	11,886,918

【資金収支計算書】

平成21年度は、厳しい学募環境を反映し、学生・生徒・園児数の減少が見込まれ、その結果、納付金収入・手数料収入・補助金収入とも前年を下回り、収入合計では前年度比209百万円の減少となる見込みである。支出面では、校舎増築等教育施設充実のための支出と153百万円の特定預金への支出があるが、経費削減の努力により支出合計では前年度比443百万円の増加となる見込みである。繰越支払資金は150百万円の減少となるが特定預金への繰入支出153百万円が支出に含まれているので収支均衡は保たれている。

消費収支予算書 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで (単位 千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	4,165,005	人件費	3,073,225
手数料	79,977	教育研究経費	1,304,877
補助金	532,184	管理経費	463,187
資産運用収入	74,212		
事業収入	55,118		
雑収入	29,917		
帰属収入合計	4,936,413		
基本金組入額	△513,638		
消費収入の部合計	4,422,775	消費支出の部合計	4,841,289
		当年度消費支出超過額	418,514
		前年度繰越消費収入超過額	2,109,693
		翌年度繰越消費収入超過額	1,691,179

【消費収支計算書】

消費収支面においても資金収支計算書で説明したとおり収入の減少が大きく、校舎増築等による基本金組入額が514百万円あるため、支出面で経費削減予算を組んでいるが419百万円の支出超過となる。しかしながら基本金組入額を除く帰属収支差額では、95百万円の収入超過となる見込みである。

※20年度計算書類の詳細については、玉手山学園ホームページ <http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp> に掲出しております。



人事異動

(平成21年5月～9月)

○大学事務局

(採用) 別掲

○幼稚園

(採用) 別掲

(退職)

山口さゆり (8月31日付)

編集後記

夏になれば、下火になるといわれたいたインフルエンザですが、感染者数は拡大する一方です。本学でも、8月初旬に大学、短大で、インフルエンザA型に感染した学生が複数確認されました。秋から冬にかけて本格的な流行が懸念されています。学生、教職員一人々がより一層の感染防止を心がけたいと思います。

○本文でも紹介していますが、今年の6月に学園の前を流れる原川でホタルをみる事ができました。ホタルはきれいな水のあるところにしか生息しないといわれています。毎年ホタルが鑑賞できるように環境保全に努めていきたいと思っております。

現在の学園広報の編集員は、松宮、村川(大学)、小林(短大)、高橋(高校)、大西(幼稚園)、池田(専門学校)、田中(本部)です。

玉手山学園広報

発行人 本部

No.61 平成21年9月25日発行
昭和63年4月12日 No.1 発行

学校法人 玉手山学園

関西福祉科学大学

関西女子短期大学

関西福祉科学大学高等学校

関西女子短期大学附属幼稚園

関西医療技術専門学校

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘三丁目十一番一

電話 (072) 9778-1661 六番

FAX (072) 9778-1587 七番

<http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp>